



# 三沢さとし県議会リポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13 電話043(227)7411

公共  
事業

## 施工時期の平準化を要望



建設業の厳しい現状を訴えた三沢県議

### 6月県議会一般質問に登壇

建設業の厳しい現状を訴えた三沢県議  
長 土木整備部 施工時期の平準化について  
はどのよう取り組んでいますか。

施工時期の平準化に向け、県土整備部ではどのよう取り組んでいますか。

三沢議員 公共事業の施工時期平準化について、昨年6月に県議会でも質問させていたところ、地元建設業者からは、厳しい経営状況などの声を耳にしましたが、依然として県議会でも質問させていたところ、地元建設業者からは、厳しい経営状況などの声を耳にしましたが、依然として

注合戦は厳しく、地元建設業者は建設業だけでは成り立たず、生き残るために、他の業種にまで手を広げざるを得ない実態もあります。

そのような中で、建設業の工事の状況を見た場合、年度後半の繁忙期に工事が集中し、一方では、年度当初は端境期で仕事が少ない状況が続き、厳しい経営状況に追い込まれている方々も少なくありません。

館山市選出の三沢智(みさわ・さとし)県議は、9月定期県議会の一般質問に登壇し、県南地域の建設業の厳しい経営状況から、公共事業の発注が年度後半に偏っている現状を指摘し、年度当初から発注するよう施工時期の平準化について改めて要望しました。これに対し、県土整備部長は、平準化を可能にするため、柔軟な工期設定が図れるフレックス工期契約制度の対象をすべての工事に拡大したことを明らかにしました。また、農林水産業の振興に関連し、本県沿岸部で藻場の消失が確認されていることから、海域環境の変化に対する新たな対策を求めました。さらに、県産牛肉のブランド化では、業界で推奨銘柄に選ばれた「チバザビーフ」の普及などを提案しました。他にも台湾との国際交流の推進など、三沢県議の主な質疑を特集しました。

## フレックス工期契約を拡大へ

建設業の厳しい現状を訴えた三沢県議  
長 土木整備部 施工時期の平準化について  
はどのよう取り組んでいますか。

三沢議員 県土整備部では、計画的な発注に向けて所属ごとに契約目標を設定し、出先事務所と本庁主務課で構成される「公共事業振興管理調整会議」において、意見交換や情報共有を行うなど適切な進捗管理を行っています。

今後も引き続き、ゼロ県債などの効果的な活用を図ることについても検討していただきたい。

三沢議員 館山市では千葉県と連携しながら、台湾の高校生の教育旅行を受け入れています。今年度だけでもすでに二つの台湾の高校

が訪れ、書道や剣道などの体験学習を行っています。今年秋には、安房高校が初めて台湾へ修学旅行に行く予定となっています。

県内市町村でも、台湾最大級の観光イベントであるランタンフェスティバルに館山市が県とともに参加するなど、自治体レベルでの交流が進んでいることは、大変意義深いことと考えてい

## ゼロ県債の活用も

的育成・確保を図るため重要なものと認識しており、早期発注や債務負担行為の活用により、計画的な発注に努めが必要だと考えています。

このため、毎年度、早期発注に向けて、上半期の目標契約率を設定し、計画的な発注を図るとともに、昨年度からは新たに舗装道路修繕の一部について、契約初

●館山市と県政に関するご要望をお寄せください。

**三沢さとし** 県事務所  
〒294-0037 館山市長須賀470-1  
TEL0470-22-3051 FAX0470-22-3052

藻場の消失で

# 海域環境の変化へ対応策求め



壇上から森田知事に語りかける三沢県議

**要望**  
担い手の確保は、  
漁業だけでなく、  
農林水産業全体の課題でも  
あります。10年後にはどう  
なっているかを考えると、

方を海に囲まれ、変化に富んだ海岸線や黒潮、親潮など  
の影響などにより、豊かな魚  
場と多様な水産資源に恵ま  
れていますが、近年、千葉県  
内の沿岸でも海草の群落で  
ある「藻場」の消失が進んで  
いると、地元の漁業者からも  
話を聞いています。

魚や貝の棲家や餌場とな  
る藻場は、沿岸漁業にとって  
重要な資源であり、藻場  
の回復に向けては、マアモや  
カジメなど海藻類の育成も  
必要だと思います。やはり、  
千葉県の海の環境が、以前  
と比べて変わってきたこと  
ではないかと感じているとこ  
ろです。そこで、海域環境  
の変化について、県の認識は  
どうか、伺います。

**農林水産部長** 日本近海  
では、ここ100年間で約  
1・1度、海水温が上昇し  
ているほか、海流や水温分  
の変動によっては、マアモや  
カジメなど海藻類の育成も  
必要だと思います。やはり、  
千葉県の海の環境が、以前  
と比べて変わってきたこと  
ではないかと感じているとこ  
ろです。そこで、海域環境  
の変化について、県の認識は  
どうか、伺います。

**三沢議員** 2点目は、漁  
業者、特に若い漁業者の確  
保対策です。水産業・漁業  
への就業に当たっては、就業  
環境が安全でそれなりの収  
入が得られ、異性に出会う  
ことができる職場環境が求  
められています。

そのため、魚のブランド化、  
安定した経営からくる収入の  
確保などに取り組んでいく必  
要があります。そこで伺いま  
す。そのために、漁業技術研修等  
を実施しているところです。  
さらに、漁業所得の10%  
以上の向上を目指して、  
漁村地域の活性化を目指す  
「浜の活力再生プラン」の取  
り組みを支援するとともに、  
意欲ある漁業者に必要な漁船  
をリースする取り組み等に対  
する経営指導を強化してまい  
ります。

**森田知事** 漁業者は引き  
続き、減少・高齢化が進んで  
おり、新たな漁業の担い手を  
確保することは喫緊の課題  
です。そこで県では、就業相  
談をはじめとして、就業希望  
者に漁業の実態と魅力を伝  
えるため、実際に漁業を体験  
する短期研修や就業に向け  
た1年間の漁業技術研修等  
を実施しているところです。

牛」と名付けられた地元産  
牛肉の生産・販売への取り組  
みが行われていますが、まだ  
始まったばかりです。

ブランド牛肉は、千葉県畜  
産業の振興にとどまらず千  
葉県をPRするツールの一つ  
として期待できます。千葉  
県産牛肉のブランド力向上  
について、どのように取り組  
んでいくのか。

**三沢議員** 私の地元でも、「里見伏姫牛」と名付けられた地元産  
牛」と名付けられた地元産  
牛肉の生産・販売への取り組  
みが行われていますが、まだ  
始まったばかりです。

ブランド牛肉は、千葉県畜  
産業の振興にとどまらず千  
葉県をPRするツールの一つ  
として期待できます。千葉  
県産牛肉のブランド力向上  
について、どのように取り組  
んでいくのか。

**商工労働部長** 南房総  
地域は、美しい海岸線や自然豊かな丘陵地帯など、サ  
イクリングコースとして魅力  
的な環境に恵まれているこ  
とから、県では、地元市町  
とともにモデルコースの設定  
や、サイクルステーションの設  
置など、受け入れ態勢の

整備を進めてまいりました。  
こうした取り組みの効果  
もあって、近年では、自転  
車を車内に持ち込めるサイ  
クル・トレインの運行や、東  
京湾フェリーを利用するサイ  
クリスト向けのイベントが開  
催されています。

**木造校舎** 木造校舎  
は、地域の防災活動拠点と  
しての機能強化に向け、地  
域振興事務所を中心に、現  
在の出先機関の配置状況や  
地域特性を踏まえつつ、合  
同庁舎化を積極的に進める  
ことにしています。

この計画では、安房地域  
における新たな合同庁舎に  
ついて、今後5年内の事業  
着手を目指しており、建築場所は旧県立安房南  
高校の跡地を考えています。  
高校の跡地を考慮していま  
す。今後、地元関係市のご  
意見も伺いながら、事業の  
着実な推進を図ってまいり

布の変化もあり、サンマやス  
ルメイカ等の日本沿岸への回  
遊の減少が見られています。  
また、本県沿岸では、海  
藻類を食べるアイゴ等の魚  
類や、ウニの一種のガングゼの  
生息数の増大や分布の拡大  
などにより、これまで見ら  
れなかつた藻場の長期にわた  
る対策の開発などに取り組  
んでいるところです。

県では、このような海域  
環境の変化に対応していく  
ため、最新の黒潮の流れや  
海水温等の情報の迅速な發  
信、藻場の維持回復に向け  
た対策の開発などに取り組  
んでいるところです。

県では、このようないくこと  
が重要だと認識しています。  
このため県では、血液検査  
データなどを活用した技術  
指導を実施するとともに、  
県外からの和牛の導入や受  
精卵を活用して、優良な和  
牛を増やし、県産牛肉の肉  
質の向上及び生産量の増加  
を図つてもらっています。

さらに、東京食肉市場ま  
で、千葉県産牛肉のブ  
ランド力向上について  
伺います。県産牛  
肉は、昨年、牛肉の  
取扱量日本一の東京  
食肉市場で開催さ  
れた「東京食肉市  
場まつり」で、チバザ  
ビーフが推奨銘柄  
として選ばれ、知事  
のトップセールスとともに、  
斎販売や記念共歓会が行わ  
れ、食肉業者や消費者に、千  
葉県が牛肉の产地であるこ  
とが認知されました。

**三沢議員** 私の地元、館  
山市でも1年を通じて多く  
のサイクリストを見かけま  
す。南房総地域におけるサイ  
クリスボートを受け入れにつ  
いて、県はどう考えているのか。

**総務部長** 「千葉県県有  
建物長寿命化計画」原案で  
は、地域の防災活動拠点と  
しての機能強化に向け、地  
域振興事務所を中心に、現  
在の出先機関の配置状況や  
地域特性を踏まえつつ、合  
同庁舎化を積極的に進める  
ことにしています。

この計画では、安房地域  
における新たな合同庁舎に  
ついて、今後5年内の事業  
着手を目指しており、建築場所は旧県立安房南  
高校の跡地を考えています。  
高校の跡地を考慮していま  
す。今後、地元関係市のご  
意見も伺いながら、事業の  
着実な推進を図つてまいり

# 海流や水温の変化が原因か

質と生産量を確保しながら、  
その特徴をPRしていくこと  
が重要だと認識しています。  
このため県では、血液検査  
データなどを活用した技術  
指導を実施するとともに、  
県外からの和牛の導入や受  
精卵を活用して、優良な和  
牛を増やし、県産牛肉の肉  
質の向上及び生産量の増加  
を図つてもらっています。

さらに、東京食肉市場ま  
で、千葉県産牛肉のブ  
ランド力向上について  
伺います。県産牛  
肉は、昨年、牛肉の  
取扱量日本一の東京  
食肉市場で開催さ  
れた「東京食肉市  
場まつり」で、チバザ  
ビーフが推奨銘柄  
として選ばれ、知事  
のトップセールスとともに、  
斎販売や記念共歓会が行わ  
れ、食肉業者や消費者に、千  
葉県が牛肉の产地であるこ  
とが認知されました。

**三沢議員** 私の地元、館  
山市でも1年を通じて多く  
のサイクリストを見かけま  
す。南房総地域におけるサイ  
クリスボートを受け入れにつ  
いて、県はどう考えているのか。

**教育長** 旧県立安房南高  
校の木造校舎は、昭和5年に  
建てられた千葉県を代表す  
る近代の校舎建築であり、平  
成7年に県の有形文化財に  
指定され、県立安房高校との  
統合により閉鎖されました。

文化財としての利活用に  
ついては、平成25年度から年  
1回の一般向け公開事業を実  
施しており、当日は高校生に  
よる吹奏楽演奏など文化部  
の発表のほか、建築の魅力を  
伝えるガイドツアーなどを開  
催しています。県教委として  
は、今後とも本木造校舎の利  
用に努めてまいります。



自席から再質問に立つ三沢県議